

令和5年度事業報告

令和5年度は、令和2年から長らく続いた新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の位置付けが引き下げられ、平時の社会生活が取り戻される中、対面での講習会や視察研修を再開するなど、協会活動もコロナ禍前と同様に、平常な事業展開を図ることができた。

このような中、協会活動を活性化するため、協会組織の委員会・部会の活動活性化を推進し、特に、業界の課題である労働安全については、令和5年度からの第3次労働災害防止計画を策定し、会員の労働安全衛生対策への取組みを促進した。

令和5年9月に発生した台風13号の際には、県からの要請に基づき5市町の地域で災害廃棄物処理に協力した。また、災害廃棄物処理の初期対応の在り方について、学識経験者に調査委託するとともに、全国産業資源循環連合会関東地域協議会（1都7県の協会）においても、大規模災害時の相互応援協定を締結するなど、災害対応という喫緊の課題についてその取組みを進めた。

I 自主事業部門

1. 調査研究・広報事業

- ① 各種通知文・印刷物等の配布、ホームページへの掲載、委員会・部会・講演会等を通じ、随時、会員に法改正・行政施策の情報提供を行った。
- ② 産業廃棄物管理票（マニフェスト）について情報提供を行った。
- ③ 「ヒヤリ・ハット」事例の収集を継続的に行い、令和5年10月末までに収集した事例をホームページに掲載するとともに、「令和5年ヒヤリ・ハット事例」を会員に送付するなどして、その活用を促した。
- ④ 大正大学の岡山教授に調査を委託し、災害廃棄物処理の初期段階に関する調査研究を実施した。

2. 労働安全衛生推進事業

令和5年度を初年度とする第3次労働災害防止計画（5カ年計画）の上半期計画を策定した。令和9年に死傷災害996人、死亡災害16人を下回ることを目標とし、経営者の意識改革等新たな重点実施事項を定め、労働災害防止に向け取り組んだ。計画策定にあたり、杉田会長がメッセージを発信し、経営者のリーダーシップのもと労使が一体となった労働

安全衛生対策の取組みを呼び掛けた。

また、(公社)全国産業資源循環連合会から提供された「当業界における労働災害に関する報道情報」および「参考となる類似事故とその対策情報等」を会員へ周知した。千葉県内の労働災害の発生状況等について情報収集・取り纏めを行い、ホームページに掲載するなど、会員企業だけに留まらず、広く安全衛生に関する情報提供に努めた。

○会員企業における「安全衛生活動の現状調査」を実施(全産連)

調査対象411社 回答111社 回答率27.0%(令和6年1月31日集計)

3. 研修事業

(1) 協会独自の研修会等(東京海上日動火災保険株との包括連携協定に基づくもの等)

① 熱中症対策セミナー2023

開催日 令和5年6月5日(月) Webセミナー

参加者 約50名

講師 東京海上日動火災保険(株) コマーシャル損害部
ロスプリ&戦略チーム(LTS) 小野 直樹 氏

② 安全衛生規程作成セミナー

開催日 令和5年10月4日(水) Webセミナー

参加者 約50名

講師 千葉県産業資源循環協会青年部会 部会長 保田 優太 氏

(2) 協会・千葉県産業廃棄物処理業協同組合の共催による研修会等

○県外視察研修

日程 令和5年11月5日(日)～6日(月)

視察先 (株)クリーンシステム(山形県山形市)

参加者 25名

(3) 許可申請に関する講習会等

(公財)日本産業廃棄物処理振興センターや(公社)全国産業資源循環連合会が主催する講習会等に協力した。日本産業廃棄物処理振興センターが実施する令和5年度許可講習会は、インターネットで講義を受講するオンライン形式と会場で講義を受講する対面形式で、全産連が主催する産業廃棄物処理検定については、会場形式で以下のとおり開催した。

○オンライン形式

① 産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会試験

課 程	開 催 日	会 場	人数
産廃収運	令和5年 5月 9日 (火)	ポートプラザちば	65名
	令和5年 6月 7日 (水)	ポートプラザちば	62名
	令和5年 7月12日 (水)	ポートプラザちば	60名
	令和5年 8月 4日 (金)	ポートプラザちば	60名
	令和5年11月 7日 (火)	ポートプラザちば	57名
	令和6年 2月 7日 (水)	ポートプラザちば	52名
	令和6年 3月 6日 (水)	ポートプラザちば	62名
産廃処分	令和5年 7月13日 (木)	ポートプラザちば	46名
特管処分	令和5年 7月12日 (水)	ポートプラザちば	44名
	令和6年 2月 6日 (火)	ポートプラザちば	43名

② 産業廃棄物処理業の更新許可申請に関する講習会試験

課 程	開 催 日	会 場	人数
収集運搬	令和5年 5月 9日 (火)	ポートプラザちば	66名
	令和5年 5月10日 (水)	ポートプラザちば	68名
	令和5年 6月 6日 (火)	ポートプラザちば	67名
	令和5年 9月28日 (木)	ポートプラザちば	63名
	令和5年11月 7日 (火)	ポートプラザちば	65名
	令和5年11月 8日 (水)	ポートプラザちば	69名
	令和5年12月12日 (火)	ポートプラザちば	67名
	令和5年12月13日 (水)	ポートプラザちば	51名
	令和6年 3月 6日 (水)	ポートプラザちば	66名
	令和6年 3月 7日 (木)	ポートプラザちば	64名
処 分	令和5年 6月 6日 (火)	ポートプラザちば	49名
	令和6年 2月 6日 (火)	ポートプラザちば	39名

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会試験

開 催 日	会 場	人数
令和5年 5月10日 (水)	ポートプラザちば	64名

令和5年 6月 7日 (水)	ポートプラザちば	49名
令和5年 7月13日 (木)	ポートプラザちば	65名
令和5年 8月 4日 (金)	ポートプラザちば	65名
令和5年 9月28日 (木)	ポートプラザちば	65名
令和5年11月 8日 (水)	ポートプラザちば	69名
令和5年12月12日 (火)	ポートプラザちば	59名
令和5年12月13日 (水)	ポートプラザちば	42名
令和6年 2月 7日 (水)	ポートプラザちば	49名
令和6年 3月 7日 (木)	ポートプラザちば	62名

○対面形式

① 産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会

課程	開催日	会場	人数
特管収運	令和5年10月11日(水)～13日(金)	ポートプラザちば	44名
産廃処分	令和5年11月14日(火)～17日(金)	ポートプラザちば	54名

② 産業廃棄物処理業の更新許可申請に関する講習会

課程	開催日	会場	人数
収集運搬	令和5年 8月 3日 (木)	ポートプラザちば	68名

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

開催日	会場	人数
令和5年 9月27日 (水)	ポートプラザちば	68名

○(公社)全国産業資源循環連合会が主催した産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法基礎)の開催に協力した。

試験日 令和6年2月18日(日)

会場 千葉県教育会館(全国14会場で同時開催)

受験者数 39名

試験範囲 廃棄物の種類、排出事業者責任、委託契約、マニフェスト、帳簿、保管基準、処理基準等に関する法令の基礎

4. 適正処理及びリサイクル等の普及推進事業

(1) 相談事業

① 産業廃棄物の適正処理のため、電話等による相談に応じた。処分先の間合せについ

ては、協会ホームページの「業者検索システム」を活用し会員処理業者を斡旋した。

② 各種許可、届出手続き等について、随時相談に応じた。

(2) 広報啓発事業

① 安全に対する意識を高めるために「安全標語」の募集を行ったところ、116点の応募があり、審査の結果、「思い込み 確認不足が事故になる 初心にかえて再確認」が最優秀賞に選ばれた。協会ホームページのトップページに掲載するなど、協会の各種広報活動に使用した。

② 「協会報」(2023 夏号、2024 冬号)を発行し、会員、関係官公庁、各種団体、各都道府県協会、排出事業者等に配布し、協会の活動状況、関係行政機関の通達、産業廃棄物処理に関する情報提供を行った。

③ 協会ホームページの内容を充実させ、排出事業者等に最新の情報提供を行った。

【URL : <https://www.chiba-sanpai.or.jp>】

④ 日本建設業連合会等発行「建設廃棄物処理委託契約書」等、出版物を有償頒布した。

⑤ 各種新聞、刊行物への広告及び掲載記事等を通じて協会活動の広報啓発を行った。

⑥ 千葉テレビ放送株および(一財)千葉県環境財団主催の第18回夏休みエコ絵画コンクールに協賛した。

⑦ 国交省関東地方整備局が主催する「大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会」の啓発活動(チラシ等の配布など)に協力した。

⑧ 県民講座として「エコメッセ2023 in ちば」に協賛、出展した。

開催日 令和5年10月15日(日)

場 所 幕張メッセ国際会議場

内 容 環境学習普及特別推進委員会で作成した木くずリサイクルのDVDを上映し、来場した子どもたちに、資源循環の大切さを理解してもらった。

参加者 適正処理推進委員会、青年部会、女性部会、協会事務局

⑨ 第23回千葉県廃棄物適正処理推進大会

千葉県廃棄物適正処理推進大会に実行委員会の一員として参画した。

開催日 令和6年1月17日(水)

場 所 千葉県教育会館

表彰受賞者 当協会からは次の8名が表彰された。

千葉県循環型社会形成推進功労者表彰

『千葉県知事感謝状』

荒井 浩実 氏 (株京葉興業)

吉田 理和 氏 (株富澤商店)

『千葉県環境生活部長感謝状』

大塚 泰弘 氏 (株富澤商店)

野場 崇 氏 (エコシステム千葉株)

山崎 忠一 氏 (エコクリーン株)

山田 慶光 氏 (J&T環境株)

山本 条司 氏 (高俊興業株)

吉田 玲子 氏 (株メイナン)

参加者 137人

主催 千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会

(構成員) (一社)千葉県産業資源循環協会・千葉県環境衛生促進協議会・
千葉県産業廃棄物処理業協同組合・(一財)千葉県環境財団・
(一社)千葉県環境保全協議会・(一社)千葉県建設業協会

(3) 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) 等の普及推進事業

(公社)全国産業資源循環連合会発行の『産業廃棄物管理票 (マニフェスト)』、建設六団体副産物対策協議会発行の『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』及び『電子マニフェスト (送り状)』を有償頒布した。産業廃棄物管理票の普及と適正処理の推進を図ったほか、記載方法等の問い合わせに応じた。

・マニフェスト頒布数

『産業廃棄物管理票 (マニフェスト)』

直行単票 99,250セット (前年度:114,940セット)

直行連続 102,500セット (前年度:138,000セット)

積替単票 1,840セット (前年度:3,160セット)

積替連続 3,000セット (前年度:2,500セット)

計 206,590セット (前年度:258,600セット)

『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』

建設単票 123,570セット (前年度:123,870セット)

建設連続 122,500セット (前年度:114,500セット)

計 246,070セット (前年度:238,370セット)

合計 452,660セット (前年度:496,970セット)

『電子マニフェスト (送り状)』

300セット (前年度:0セット)

(4) 災害廃棄物処理支援

- ① 9月8日からの台風13号の接近に伴う大雨により発生した災害廃棄物を、県と協会との間で締結した「地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定」に基づき、県からの要請を受けて、大網白里市、茂原市、長生郡市広域市町村圏組合及び鴨川市の3市1組合の災害廃棄物仮置場の管理運営、災害廃棄物の搬出、運搬、処分・再生等業務を行った。
- ② 災害廃棄物の処理等において、各都県協会のみでは十分な対応が困難な場合に、関東地域協議会の各都県協会の連携と協力のもと相互応援するために必要な事項を定めた「相互応援協定」を締結した。(6月30日 環境省立会いのもと調印式)
円滑な運用に向け、資機材等調査を行うなど関東地域協議会で検討を進めている。
- ③ 大正大学の岡山教授に調査を委託し、災害廃棄物処理の初期段階に関する調査研究を実施した。

(5) 家畜伝染病発生時に殺処分した家畜等の処理支援

年々鳥インフルエンザの発生時期が早まっていることから、11月2日に県畜産課と協力意向の会員会社とによる「家畜伝染病発生時の防疫作業等説明会」を開催した。
また、4年度に発生した高病原性鳥インフルエンザに関し、県からの協力要請に対する協力会員会社の安全かつ迅速な防疫業務対応が評価され、協会に対し8月29日に知事感謝状が贈呈された。

(6) 排出事業者を対象とするセミナーの開催協力

千葉県主催「千葉県廃棄物リサイクル促進研修会」(Web配信)の開催に協力した。

(7) 優良産廃処理業者認定制度の普及促進

ホームページ等による情報提供等を通じて、廃棄物処理法の優良産廃処理業者認定制度の普及促進に努めた。

(8) 業界のSDGs(持続可能な開発目標)への取組みを推進

企業経営において重要な指標となっているSDGsへの取組みを推進するため、処理業者セミナーでの取組事例の紹介や県の「ちばSDGsパートナー登録制度」の周知などを行った。

5. 環境保全対策事業

不法投棄等の不適正処理による支障除去に対する支援等については、該当事案がなかった。

6. 環境学習普及促進事業

10月15日（日）に幕張メッセ国際会議場において「エコメッセ2023 in ちば」に出展し、県民講座として、小学生親子を対象に環境学習授業を行った。

青年部会員と女性部会員が進行役となり、解体された家から出た木くずがパーティクルボードに生まれ変わるまでを、協会が作成した環境学習教材DVD「木材リサイクル～モノが生まれ変わる様子を見に行こう～」を視聴後、クイズを解いてもらいながら木くずのリサイクル、資源循環を学んだ。

II 受託事業部門

<県内産業廃棄物処理業者育成事業>

1. 産業廃棄物処理業者セミナー業務（千葉県・千葉市・船橋市・柏市委託事業）

会場開催日	令和5年 8月30日（水）	参加者	260名
場 所	青葉の森公園芸術文化ホール		
動画配信期間	令和5年10月 1日（日）～令和5年11月30日（木）		
	※ 配信期間中は24時間視聴可能とした。		
視 聴 回 数	V i m e o	208回	
（再生回数）	Y o u T u b e	102回	
内 容	・指導の状況と注意点について 講師：千葉県環境生活部 廃棄物指導課 監視指導室 技 師 大塚 拓美 氏		
	・エコドライブについて 講師：千葉県環境生活部 温暖化対策推進課 エコオフィス・次世代自動車推進班 班 長 原 正樹 氏		
	・産業廃棄物処理業者のSDGsの取り組み事例に学ぶ ～これならできるSDGs!!～ 講師：(株)アンカーネットワークサービス 代表取締役CEO 碓 隆司 氏		

2. 許可申請に係る相談業務（千葉県委託事業）

産業廃棄物収集運搬業（積替・保管を除く）の新規・更新・事業範囲変更の許可申請に係る事前相談、優良認定制度に係る相談、新規許可申請に関する説明会を実施した。許可申請に係る事前相談時及び、新規許可申請に関する説明会時に「産業廃棄物の種類」と「建設廃棄物の種類及び主な内容」のリーフレット、「水銀廃棄物の適正処理の推進のためのパンフレット」（環境省作成）等を配布し、石綿含有廃棄物や水銀廃棄物などの取扱いについて周知徹底を図るとともに、適正処理とコンプライアンスの確保を呼び掛けた。

・新規許可申請に係る事前相談	1, 408回	(申請件数	857件)
・更新許可申請に係る事前相談	2, 551回	(申請件数	1, 866件)
・事業範囲変更許可申請に係る事前相談	381回	(申請件数	231件)
・許可申請に伴う変更届に係る相談	1, 355回	(申請件数	1, 109件)
合 計	5, 695回	(申請件数	4, 063件)
・優良産廃処理業者認定制度に係る相談			100件
・新規許可申請に関する説明会	22回開催	出席者	32名
・更新手続きお知らせの通知			2, 327件
・産業廃棄物処分業者に対する実績報告書提出に係る通知の配布			294件

Ⅲ 収益事業部門（収益事業）

1. 県収入証紙売捌き事業

産業廃棄物処理業許可申請に当たって県に手数料を納付する申請者の便宜を図るため、県から「県収入証紙売捌き所」の指定を受けて、県収入証紙を購入して、有償頒布（売捌き）をした。なお、令和5年度からインターネットでの申込販売も開始した。

令和5年度売捌き高 121, 881, 050円（令和4年度129, 230, 000円）

Ⅳ 法人管理等部門

1. 委員会、部会及び支部等の活動

廃棄物処理関係法令などの改正並びに業界の環境変化に迅速的確に対処し、会員の意見

や要望に応え得るよう、それぞれの問題について協議するため次のとおり開催した。

(1) 委員会

① 総務企画委員会

協会諸規程の改正について検討した。また、令和6年度事業計画及び予算について現状に対応した事業内容の見直しや新規事業の検討等を実施した。

② 適正処理推進委員会

優良事業所及び優良従事者の選考、第23回千葉県廃棄物適正処理推進大会における被表彰候補者の選考等を実施した。

③ 安全衛生推進委員会

第3次労働災害防止計画を策定・周知するとともに、安全衛生研修事業、ヒヤリ・ハット事例の収集、労働安全に関する表彰及び安全標語の選考等を実施した。

④ 災害廃棄物対策委員会

台風13号に伴う県からの要請による災害廃棄物処理の対応について協議するとともに、地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等の課題について、県への提言を行った。

(2) 部会

① 収集運搬部会

今後の部会活動と国・県等への要望について協議した。

また、青年部会と合同で研修会を実施した。

開催日 令和6年1月19日(金)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

内 容 ○講演

ア.「これがヒューマンエラーだ！」

講師：南関東日野自動車(株)

営業企画部 教育・研修グループ

グループ長 山野 慎司 氏

イ.「産廃DXの実現のためにファンファーレがご支援できること」

講師：ファンファーレ(株) 営業部 野田 直孝 氏

藤井 智之 氏

○意見交換

参加者 収集運搬部会11名、青年部会17名

② 建設廃棄物部会

今後の部会活動について協議した。

③ 中間処理リサイクル部会

今後の部会活動と国・県等への要望について協議した。

④ 最終処分部会

県の「千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱」の手続きの改定について要望を行ったほか、「全国産業資源循環連合会最終処分部会及び処分場早期安定化分科会の動向について」の講演等を開催した。

⑤ 医療廃棄物部会

今後の部会活動と国・県等への要望について協議し、県へ今後の緊急時や災害時への感染性廃棄物処理の提言を行った。

⑥ 賛助会員建設部会

ア. 総会

令和5年8月29日（火）、「三井ガーデンホテル千葉」において、令和5年度建設部会総会を開催し、役員を選任について承認された。

議事終了後、「盛土規制法と県残土条例・再生土条例の関係や今後の県の対応について」意見交換を行った。

千葉県 環境生活部 ヤード・残土対策課 班長 衣川 佑一 氏

千葉県 県土整備部 都市計画課 副主幹 平柳 好一 氏

イ. 正・副部会長会議

第1回 令和5年6月23日（金）協会役員室

ウ. 建設廃棄物処理料金調査への協力

全国産業資源循環連合会関東地域協議会で行っている建設系廃棄物処理料金調査項目や調査表の改定時期に関する調査へ協力した。

(3) 支部会議

支部における諸問題を協議し、会員相互の情報交換、意見交換を行い、併せて行政当局に対する要望を行った。

① 中央支部会議

開催日 令和5年8月22日（火）

場 所 ホテル日航成田

参加者 38名

② 西支部会議

開催日 令和5年8月 9日（水）

場 所 ホテルフローラ船橋

- 参加者 41名
- ③ 南支部会議
- 開催日 令和5年8月 2日(水)
- 場 所 五井グランドホテル
- 参加者 47名
- 【共通議題】
- 「労働災害防止について」
 - <中央支部>成田労働基準監督署 安全衛生課
課長 朝生 和弥 氏
 - <西支部>船橋労働基準監督署 安全衛生課
課長 高橋 幸喜 氏
 - <南支部>千葉労働局 健康安全課
副主任 労働衛生専門官 関 高久 氏
 - 「働き方改革について(時間外労働の上限規制など)」
 - <中央支部>千葉働き方改革推進支援センター専門家
社会保険労務士 古賀 康史 氏
 - <西支部>千葉働き方改革推進支援センター専門家
社会保険労務士 高倉 彩乃 氏
 - <南支部>千葉働き方改革推進支援センター専門家
社会保険労務士 高倉 彩乃 氏
 - 意見交換
 - ア.「災害廃棄物の処理について」
千葉県 環境生活部 循環型社会推進課より
 - イ. 行政又は協会に対する意見・要望事項について

2. 関係機関、団体との連携、協力

(1) 行政との連携、協力

- ① (公社)全国産業資源循環連合会を経由して主に環境省から提供される行政情報を協会ホームページに掲載し又はメール等で情報提供を行った。
- ② 千葉県環境生活部廃棄物指導課とは、支部会議等各種会議に担当者の出席を得るなど日常的に意思疎通を図るとともに、個別事項についての意見交換会を行った。
- ③ 千葉県環境生活部循環型社会推進課の主催事業に協力するとともに、環境学習や災害廃棄物の処理などについて、意見交換を行った。
- ④ 環境行政の推進に当たり、県及び柏市からの推薦依頼を受け、千葉県環境審議会

委員として岩楯副会長が、柏市廃棄物処理清掃審議会委員として内田専務理事が出席した。

⑤ 行政懇談会

千葉県及び3市（千葉市・船橋市・柏市）と行政懇談会を開催し意見交換を行った。

開催日 令和5年12月20日（水）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 38名（協会23名、県9名、3市6名）

内 容 ○意見交換

ア. 「千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」について
（通称：金属スクラップヤード規制条例）

イ. 「千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱」
について（要望）

ウ. 「千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱」について
（要望）

エ. 災害廃棄物対策委員会からの提言について

オ. 医療廃棄物部会からの提言について

カ. リサイクル材（再生砕石等）の循環等について

（2）他団体との連携、協力

① （公社）全国産業資源循環連合会が行う諸事業並びに各種調査研究事業に、協会役員が委員として参加するなど、連合会の事業推進に協力した。

② 関東地域の都県協会と交流を図り、（公社）全国産業資源循環連合会を通じて国等に対する要望活動を行うとともに、産業廃棄物に関する諸問題について意見交換した。

特に、関東地域協議会（1都7県）で、「災害時における災害廃棄物の処理等に係る相互応援に関する協定」を締結し、災害廃棄物の処理について各協会のみでは困難な場合、他の協会の連携と協力のもと相互応援することとした。

・第70回関東地域協議会

開催日 令和5年4月18日（火）

場 所 LEVEL XXI 東京會館（東京都千代田区）

内 容 ○議事

ア. 令和4年度 事業報告及び収支決算報告

イ. 令和5年度 事業計画案及び収支予算案

ウ. 広域災害発生時の相互応援について

エ. 次回開催地について

オ. その他

○全国産業資源循環連合会の活動報告

○その他

○講演

産業廃棄物行政の現状と課題について

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課

課長 松田 尚之 氏

・第71回関東地域協議会

開催日 令和5年11月16日（木）

場 所 浦安ブライトンホテル東京ベイ（浦安市）

内 容 ○議事

ア. 直近の災害廃棄物対応事例について

イ. 許可講習会回数減による影響について

ウ. 建設廃棄物料金調査について

○全国産業資源循環連合会の活動報告

○その他

○講演

産業廃棄物処理行政の現状と今後の方向性

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課

課長 松田 尚之 氏

- ・災害廃棄物委員会に参加し、広域災害発生時の相互応援等について協議した。
- ・建設廃棄物対策委員会に参加し、2年に1度の処理料金調査を実施した。
- ・事務責任者会議（10月、3月）、事務担当者会議（11月）に参加した。
- ③ 一都三県建設混合廃棄物意見交換会に参加した。（11月）
- ④ （一財）千葉県環境財団のちば環境再生推進委員会委員として杉田会長が出席した。
- ⑤ 大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会（環境省関東地方環境事務所主催）に参加した。

3. 新規会員の加入促進、会員間の連携強化

- (1) 機会を捉えて、協会役員等により、協会未加入の産業廃棄物処理業者や排出事業者に対して事業内容等を説明し、産業廃棄物の適正処理について協力を求めるとともに、協会の事業紹介リーフレットを配布し、正会員及び賛助会員の加入促進を図った。

(2) 新入会員と協会役員との懇談会

- 開催日 令和5年8月24日(木)
- 場 所 協会会議室
- 参加者 新規正会員 3社、新規賛助会員 1社
- 内 容 ○協会事業の状況について
○意見交換
- ア. SDGsへの取り組み
 - イ. 業界内でのIT化の取り組み
 - ウ. 少量廃棄物の回収について

4. 顕彰・表彰事業

- ① 会長表彰として、優良品業所1事業所及び優良従事者23名を第11回定時総会において表彰した。

【優良品業所】 (株)稲葉商店(市川市)

【優良従事者】 ○産業廃棄物処理業務10年以上従事

- 福田 一也 氏(大平興産(株))
- 菱木 明夫 氏(大平興産(株))
- 小野寺 茂 氏(千代田鋳砕(株))
- 千葉 公樹 氏(J&T環境(株))
- 石塚 孝治 氏(有)五栄工業)
- 猪狩 秀幸 氏(J&T環境(株))
- 滑川 和良 氏(株)市川環境エンジニアリング)
- 本吉 政信 氏(株)ワシダ)
- 滝口 栄一 氏(有)妻本商店)
- 長谷川文男 氏(有)妻本商店)
- 一柳瀬里奈 氏(株)TOAシブル)
- 松本 智子 氏(株)TOAシブル)
- 山本 義男 氏(株)カンナ)
- 園田 慎 氏(千葉オイレッシュ(株))

○産業廃棄物処理業務20年以上従事

- 萩野谷 学 氏(株)市川環境エンジニアリング)
- 内山 幸治 氏(株)ダイセキ)

尾形 光男 氏 (大平興産株)
齋藤 崇 氏 (株TOAシブル)
澁谷 政明 氏 (株TOAシブル)

○産業廃棄物処理業務30年以上従事

坂野 功一 氏 (株市川環境エンジニアリング)
高井 義成 氏 (株TOAシブル)
早乙女 登 氏 (株TOAシブル)
有田 毅司 氏 (株市川環境エンジニアリング)

② 会長表彰として、労働安全優秀賞3事業所、労働安全特別賞6事業所、労働安全功労者賞3名及び安全標語最優秀賞1名を第11回定時総会において表彰した。

【労働安全優秀賞】 オリックス環境株 船橋工場 (船橋市)
(有)五栄工業 (白井市)

J & T環境株 千葉事業本部 (千葉市)

【労働安全特別賞】 株市原ニューエナジー (市原市)

株カンナ (市原市)

千葉美装株 エコRCセンター (南房総市)

千葉美装株 エコウッド (安房郡鋸南町)

(有)妻本商店 (鴨川市)

株TOAシブル (八千代市)

【労働安全功労者賞】 北見 賢一 氏 ((有)妻本商店)

仲野 明菜 氏 ((有)五栄工業)

橋爪 佑季 氏 (株カンナ)

【安全標語最優秀賞】 佐賀 良伸 氏 (株京葉興業)

③ (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰として、功労者1名、地方優良事業所2事業所及び優良従事者8名を推薦し、表彰された。

【功 労 者】 大賀 実 氏 (高俊興業株)

【地方優良事業所】 株高谷環境再生センター (市川市)

株富澤商店 (千葉市)

【優良従事者】 小関 光治 氏 (株カンナ)

市川 勲 氏 (株環境サービス)

杉山耕一郎 氏 ((一財)千葉県まちづくり公社)

中島 浩一 氏 ((有)五栄工業)

黒林 潤一 氏（株TOAシブル）
山本 幸一 氏（株TOAシブル）
飯田 麻美 氏（千葉オイレッシュ(株)）
加藤 潤一 氏（株京葉興業）

④ 環境大臣表彰として、循環型社会形成推進功労者（産業廃棄物関係事業功労者）2名を推薦し、「第19回産業廃棄物と環境を考える全国大会」において表彰された。

坂口 浩 氏（千代田鋳砕(株)）

水内 郁夫 氏（株京葉興業）

⑤ 中央労働災害防止協会 緑十字賞として、株カンナ千葉本社を推薦し、全国産業安全衛生大会において表彰された。

5. 定時総会、常任理事会及び理事会等の開催

(1) 第11回定時総会

開催日 令和5年5月30日（火）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

出席者 61社 78名、委任状175社、議決権行使書52社

議 事 <議案> 第1号議案 令和4年度事業報告について
第2号議案 令和4年度決算について
第3号議案 役員の補充について

以上の議案は、原案のとおり承認された。

<報告> 第1号 公益目的支出計画実施報告について
第2号 令和5年度事業計画について
第3号 令和5年度予算について

(2) 常任理事会、理事会

事業の円滑な執行等を図るため、常任理事会、理事会を開催し、協会の運営並びに当面の諸問題等に関して協議した。

令和5年 5月 9日（火）常任理事会、理事会
5月30日（火）理事会

令和5年 6月27日（火）常任理事会、理事会
7月25日（火）常任理事会、理事会
9月26日（火）常任理事会、理事会
10月24日（火）常任理事会、理事会

- 11月28日(火) 常任理事会、理事会
- 12月20日(水) 理事会
- 令和6年 1月25日(木) 常任理事会、理事会
- 3月26日(火) 常任理事会、理事会

6. その他の事業

(1) 親睦ゴルフコンペ

- 開催日 令和5年11月18日(土)
- 場 所 ラ・ヴィスタゴルフリゾート (長生郡長南町)
- 参加者 18名

(2) 新年賀詞交歓会 (千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催)

- 開催日 令和6年1月25日(木)
- 場 所 三井ガーデンホテル千葉
- 参加者 182名

【重要事項】

- 令和 5年 4月 1日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉県知事と締結
- 令和 5年 5月17日 災害廃棄物処理の初期段階に関する委託研究契約を大正大学と締結
- 令和 5年 5月23日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を船橋市長と締結
- 令和 5年 6月 5日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉市長と締結
- 令和 5年 6月12日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を柏市長と締結
- 令和 5年 6月30日 災害時における災害廃棄物の処理等に係る相互応援に関する協定を
関東地域1都7県協会で締結
- 令和 5年 7月18日 高病原性鳥インフルエンザに係る防疫対応への協力が評価され、
千葉県知事感謝状

【会員の變動状況】

(令和6年3月31日現在)

区 分	期 首	入 会	退 会	期 末	増 減
正 会 員	406	9	10	405	△1

賛助会員	38	2	1	39	1
計	444	11	11	444	0

(正会員内訳)

収集運搬のみ	213社
中間処理のみ	33社
最終処分のみ	2社
収運・中間	145社
収運・最終	4社
中間・最終	1社
収運・中間・最終	4社
排出事業者その他	3社

【役員名簿】

(令和6年3月31日現在)

役職	氏名	会社名
会長	杉田 昭 義	杉田建材(株)
副会長	山本 隆	(株)日美産業
副会長	大賀 実	高俊興業(株)
副会長	岩 楯 保	(株)市川環境エンジニアリング
専務理事	内 田 文 雄	(一社)千葉県産業資源循環協会
常任理事	新 井 隆 太	新井総合施設(株)
常任理事	高 橋 政 行	船橋興産(株)
常任理事	安 池 慎一郎	(株)TOAシブル
常任理事	大 池 秀 和	エコシステム千葉(株)
常任理事	吉 田 理 和	(株)富澤商店
理 事	平 澤 雅 彦	大平興産(株)
理 事	加 瀬 邦 雄	(株)ナリコー
理 事	池 田 美恵子	(株)イケダ
理 事	保 田 優 太	保田産業(株)
理 事	水 内 郁 夫	(株)京葉興業
理 事	小 池 陽 二	(株)タケエイ
理 事	伊 藤 公 子	共同リサイクル(株)
理 事	坂 本 剛	太陽建設(株)
理 事	瀬 田 英 博	(株)エコ・マイニング
理 事	小 林 敬 司	J&T環境(株)
理 事	碓 隆 司	(株)アンカーネットワークサービス
理 事	中 田 守	(一社)千葉県環境保全協議会
監 事	田 中 昌 夫	税理士法人 千葉中央会計事務所
監 事	小 出 直 紀	(株)佐倉環境センター

参 考

環境保全対策基金運営委員会

環境保全対策基金は、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理により生じる生活環境への支障を防止し、資源循環や適正処理の推進に関する事業者・県民の意識高揚を促進するとともに、産業廃棄物処理業に対する理解を広めてその健全な育成を図ることを目的に設置されている。

基金運営委員会は、この基金の適正かつ効果的な運営を図るために、次のとおり会議を開催した。

○第1回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和5年7月25日(火)

場 所 協会会議室

議 事 (1) 令和5年度環境保全対策基金事業の進捗状況について
(2) 意見交換

○第2回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和6年1月25日(木)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

議 事 (1) 令和5年度環境保全対策基金事業の進捗状況について
(2) 令和6年度環境保全対策基金事業計画(案)について
(3) その他

【 委 員 】

(令和6年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
委 員 長	瀧 和 夫	千葉工業大学名誉教授
副委員長	葉岡部 循 一	(一財)千葉県環境財団 理事長
委 員	岩 田 元 一	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
委 員	橋 本 欣 也	千葉県環境生活部 循環型社会推進課長
委 員	庄 山 公 透	千葉県環境生活部 廃棄物指導課長
委 員	山 本 隆	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	大 賀 実	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	岩 楯 保	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長

青年部会活動報告

青年部会は、処理業界の次代を担う後継者、または会社幹部として自主的な研鑽を重ねるとともに、会員の親睦を目的として42名をもって構成し、会員の増強、組織の拡大、他団体との交流及び積極的な事業実施を期して、以下のとおり活動した。

1. 組織の充実強化

青年部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。(2名加入)

2. 定時総会

第11回定時総会を令和5年5月19日(金)に開催し、令和4年度事業報告及び収支決算報告、令和5年度事業計画及び収支予算並びに役員補充は、原案のとおり承認された。

3. 役員会

役員会を9回(うちWeb開催3回)開催し、定時総会提案議案の審議及び青年部会の事業運営等について協議した。

4. 社会貢献活動(県民講座)

令和5年10月15日(日)開催の「エコメッセ2023 in ちば」に協会、女性部会とともに出展し、環境学習DVD「モノが生まれ変わる様子を見に行こう!」を放映したほか、木くずのリサイクル等について説明を行った。

5. 他都県協会との交流

(1) 全国産業資源循環連合会青年部協議会

- ・第24回通常総会(東京都港区)
- ・第12回全国大会(沖縄県那覇市)
- ・第13回カンファレンス(鳥取県米子市)

(2) 全国産業資源循環連合会青年部協議会 関東ブロック

- ・第19回通常総会、20周年記念式典(茨城県水戸市)
- ・賀詞交歓会(東京都台東区)
- ・幹事会
- ・研修会(埼玉県所沢市他)
- ・交流会(神奈川県横浜市)

6. 研修会等

(1) 千葉県環境生活部循環型社会推進課との意見交換

テーマ：「環境学習等の推進における官民の連携について」

千葉県環境生活部循環型社会推進課

環境保全活動推進班 班長 久保田 隆志 氏

(2) 県内視察研修

(株)京葉興業 千葉北総プラント (白井市)

(3) 協会収集運搬部会合同研修会

① 「これがヒューマンエラーだ！」

講師：南関東日野自動車(株) 営業企画部 教育・研修グループ

グループ長 山野 慎司 氏

② 「産廃DXの実現のためにファンファーレがご支援できること」

講師：ファンファーレ(株)

営業部 野田 直孝 氏、藤井 智之 氏

7. 千葉県中小企業団体青年中央会

・第36回通常総会 (千葉市中央区)

・役員会

女性部会活動報告

女性の視点からみた「環境」「廃棄物業界」「リサイクル」についての課題を協会に提案するとともに、部会員相互で情報交換し、互いの知識向上、親睦を図ることを目的として8名で構成している。

1. 女性部会

女性部会を開催し、意見交換会等を行った。

2. 社会貢献活動 (県民講座)

令和5年10月15日 (日) 開催の「エコメッセ2023 in ちば」に協会、青年部会とともに出展し、環境学習DVD「モノが生まれ変わる様子を見に行こう！」を放映したほか、木くずのリサイクル等について説明を行った。